



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和5年6月17日(土)
春の合同剪定会に参加しました 編

今年も能代バイパス黒松友の会*の春の剪定会初日に参加しました。昨年春は木高研の安藤大将先生と、秋には安藤先生と修士課程1年の倉嶋さんと参加し、無口・無心になりながらも複数人で行う良さを実感しました(令和4年6月18日、10月1日活動レポート参照)。今回は4月から研究所に来られた元田・藤田特任助教のお二人に安藤先生がお声がけ下さり、NWの松の西隣のオーナー不在の黒松も剪定させていただきました。安藤先生の「能代にいないとできない体験だ！」のお誘いは若い方々の心に響くようです。おかげで私の仕事は激減、お昼過ぎには2本とも剪定を終えることができました。

昨年春ほど徒長枝は長くない、秋の剪定成果もあって茂り具合も少なかったですが、相変わらずNWの松は「この人たちに刈られると、このままでは危ない！」と生命の危機を感じ取っているようで、変色も枯死の兆しもなく、元気よく成長していました。安倍元会長をはじめ、会場巡回中にお立ち寄り下さった講師の方から、(NWの黒松は)北西の風を受けて立っている能代らしい形をしていると教えていただきました。枯らさないよう、形も崩さないよう、少しずつでもスキルアップして続けていければと思います。

暑い中での作業、皆さまお疲れ様でした。現場で丁寧にご指導くださいました講師の皆さま、ご準備・サポート下さいました事務局の皆さま、お世話になりました。有難うございました。

文： 渡辺 千明

*能代バイパス黒松友の会紹介 URL:

https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/douro/noshirokokudou_douro/vsp/kuromatu/main.html



お天気が良かったためでしょうか。この日はたくさんの参加者がありました。



手引き書で事前学習はしていますが、実地指導に勝るものではありません。剪定は全くの素人の木高研チーム。安倍元会長はじめ講師の方からご指導をいただきました(上)。少しでもうまくいこう経験者と未経験者の組み合わせで行いました。西隣では能代河川国道事務所の長崎さんが手際よく剪定されていました(下)。



黒松友の会の剪定枝葉のほか、能代南IC付近で生じた剪定枝葉や伐採枝も木高研に運んでいただきました。後日、炭焼きをした後、利活用実験を進める予定です。